

## 個人農家による耕作放棄地再生利用の事例

取組主体 ・ 農業者

地区名 ・ 長野地区

解消面積 ・ 751a(自力施工含む)

再生作業年 度 ・ 平成22～25、27年度

導入作物 ・ そば

取組のきっかけ ・ 荒廃農地の解消

### 取組の概要

- 平成22年度から国の事業を活用し、耕作放棄地の解消を行ってきた。
- 水稻とそばを栽培している。再生利用地では、そばを栽培しており、収穫したそばの実（玄そば）を乾燥させ、地域の製麺加工会社に販売している。そばの作付面積は、再生利用農地以外も含めて約12haとなっている。

### 取組のきっかけ

- 5年ほど前に会社を退職したことを契機に、農業を本格的に始めようと考え、町に相談したところ、耕作放棄地の解消事業を紹介されたことがきっかけであり、初年度は36aの小さな面積からスタートした。
- そばを栽培したことは無かったが、知人にそば農家がいたことから、そばを栽培してみようと思った。

### 取組主体の感想

- 認定農業者になることを目指して、活用できそうな耕作放棄地を自分で探して面積を増やしてきた。耕作放棄地を解消することにより広大な面積を確保することができ良かった。
- 経営所得安定対策の再生利用交付金も機械導入する上で非常に助かった。
- 平成26年度に認定農業者となったので、今後も意欲的に農業を続けていきたい。
- 栽培面積は、場所など条件に合う土地があれば拡大したい。

### 解消状況例

再生前



再生後



連絡先：南会津町農業再生協議会（南会津町農業委員会）  
 電話番号：0241-62-6320 FAX：0241-62-6102  
 活用事業：耕作放棄地再生利用緊急対策（国）